

Heart & Hand



2022

Vol.23



生活介護
修光学園

生活介護事業
光の家アクティブセンター

就労移行支援・就労継続支援B型事業
飛鳥井ワークセンター

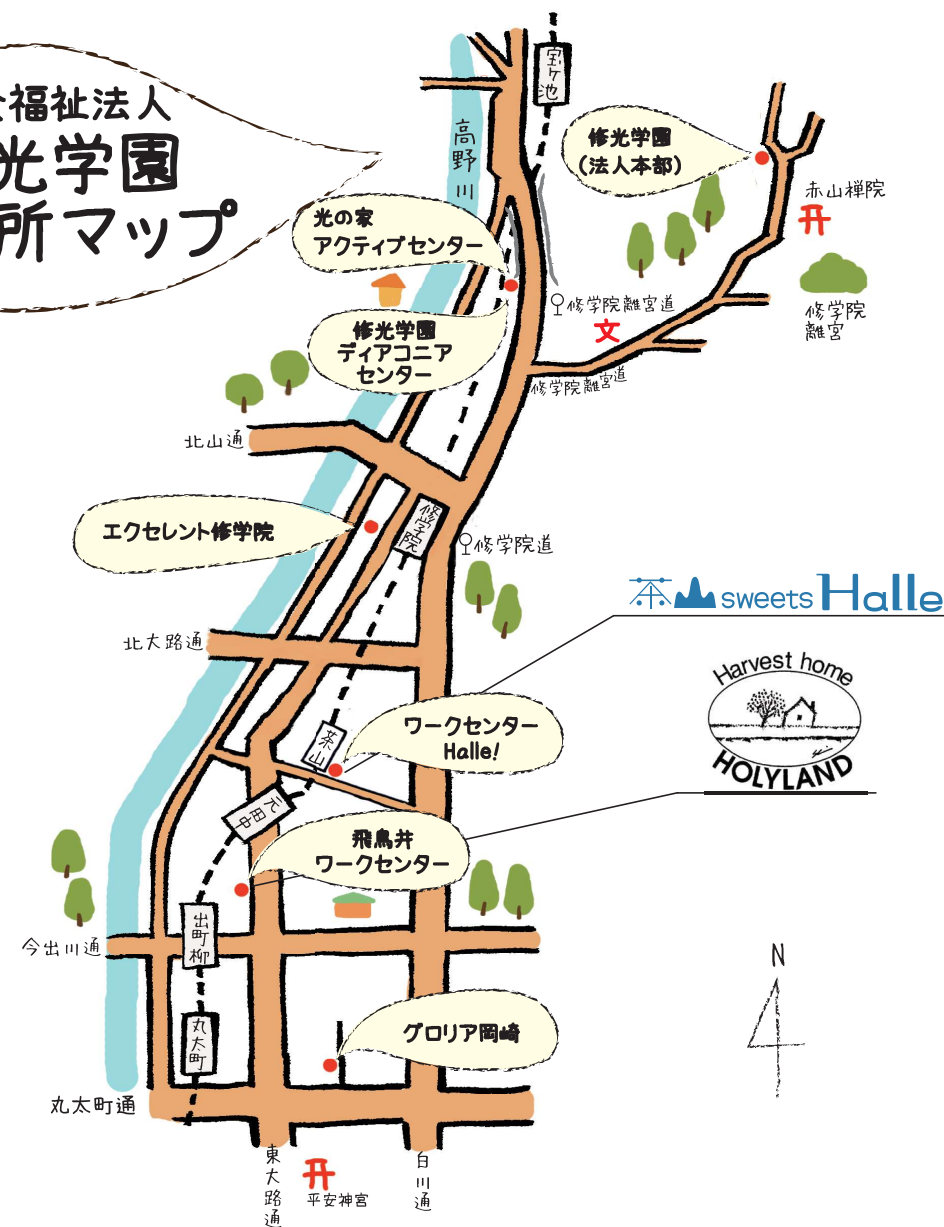
就労継続支援B型事業
ワークセンター Halle!

地域生活支援事業・居宅介護等事業・特定相談支援事業
修光学園ディアコニアセンター

共同生活援助事業
修光学園グループホーム

短期入所事業
修光学園ショートステイ「ikoi」、「hikari」

社会福祉法人 修光学園 事業所マップ



修光学園 (法人本部)
〒606-8033
京都市左京区修学院山添町 8-2
TEL 075-702-1700
FAX 075-702-2700
shuko@shuko-gakuen.or.jp



飛鳥井ワークセンター
/ Harvest home HOLYLAND
〒606-8226
京都市左京区田中飛鳥井町 40
TEL 075-722-5991
FAX 075-722-5951
asukai@shuko-gakuen.or.jp



ワークセンター Halle!
/ sweets Halle
〒606-8233
京都市左京区田中北春菜町 14-1
TEL 075-706-2400
FAX 075-706-2401
halle@shuko-gakuen.or.jp



修光学園グループホーム
エクセレント修学院
〒606-8003
京都市左京区山端川原町 9-1
エクセレント修学院



光の家アクティブセンター
/ ショートステイ「hikari」
〒606-8012
京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3
TEL 075-711-7360
FAX 075-711-7370
hikari@shuko-gakuen.or.jp

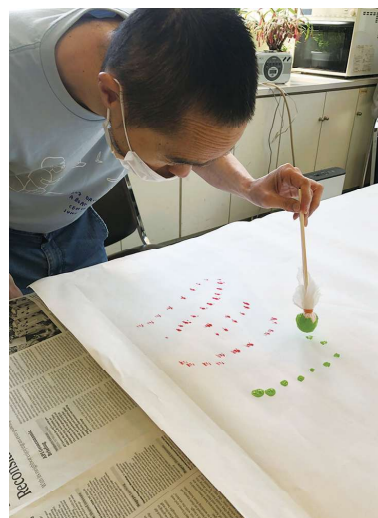
修光学園ディアコニアセンター
〒606-8012
京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3
TEL 075-702-7991
FAX 075-702-7992
diakonia@shuko-gakuen.or.jp



修光学園グループホーム
グロリア岡崎
ショートステイ「ikoi」
〒606-8322
京都市左京区岡崎入江町 40-1



修光学園グループホーム
グリーンビュー宝ヶ池
〒606-0053
京都市左京区上高野車地町106



修光学園 支援スタッフ
つばぐち まこと
坪口 真琴 さん

五感を刺激し他者と取り組む 「表現活動」始めました！

「おもろいなあ！」「私はこの色が好き」「夏のカレンダーは何にする？」——言葉で、身振りで、作った作品で、自分の思いや気持ちを表現する「表現活動」。2021年からスタートしたこの取り組みは、「作業」としてのワンパターンな制作ではなく、一人ひとりの「自由創作」を目的としています。

活動のテーマは「五感の刺激」。味覚や触覚、視覚、聴覚、嗅覚に働きかけるよう、さまざまな角度からアプローチしています。

例えば「ちぎり絵」。ちぎる動作は指先の刺激のほか、ちぎる音を楽しみ、目で見て好きな大きさにするおもしろさがあります。ちぎったものを「貼る」、「色を塗ってからちぎる」などで、みんなでひとつの大きな作品を作れます。

色塗りは筆だけでなく、ガーゼを丸めた「タンポ」を皆で作リ、ハンコのように使います。テーブルの上に広げた紙に四方からポンポンと色を押していくと、そこに線を書き足す人もいて、思いがけない絵が完成します。

もっとも表現活動は、「作品作り」が目的ではなく、「描きましょう」と促すものでもありません。

あくまでそれぞれの「やってみたい」が優先です。皆の時間が合うときに、毎月の壁面の絵をグループ制作しますが、個人が好きなことに取り組みのもOK。新しく画材を置くスペースを作り、誰もが自由に使えるようにしました。道具を使う順番を待ったり、貸し合うなかで相手を思いやる気持ちも生まれます。

仕上がった作品は「発表会」で鑑賞し合います。活動をふり返るなかで、「私は次にこれを作りたい」と意見表明したり、「あの人はこんな表現をするのか」と他者との違いやおもしろさに気づくことができます。表現活動とは、「自分の気持ちを外に出して伝える」「他者の思いや異なる表現を受けとめる」双方の力を育む体験です。ワクワクしながら自己肯定感を高め、仲間との協働が、コミュニケーションの幅を広げます。

今後も料理や音楽、アロマやダンスなどさまざまな活動を企画しています。自由な、楽しい活動の先に違う自分を発見する。自分らしくいられる時間をもち、そんなのびやかな活動を目指しています。

Heart & Hand CONTENTS

- 02 インタビュー
修光学園 支援スタッフ 坪口 真琴
- 03 カタログ
- 05 社会福祉法人修光学園グループの活動
- 07 修光学園
- 09 光の家アクティブセンター
- 11 飛鳥井ワークセンター
- 13 ワークセンター Halle!
- 15 修光学園ディアコニアセンター
修光学園グループホーム
- 17 メディア 2021
- 19 アートギャラリー
- 20 沿革、評議員・役員等名簿
- 21 会計報告（貸借対照表・計算書）
- 22 ご支援くださいました方々



菊芋焼きドーナツ

京都大原百井町で栽培されている「菊芋」。血糖値の上昇を抑えると言われる「イヌリン」という成分が入っており、お菓子との相性は◎。菊芋パウダーを生地にも、仕上げのグラス(糖蜜)にも使用した、特製焼きドーナツです。

¥280(税込)



おにぎり皿(中)、(小)

おにぎりのような形のお皿です。角がまるく、特にやさしい雰囲気仕上になっているのが素敵です。

おにぎり皿(中) ¥2,400(税込)

おにぎり皿(小) ¥800(税込)



フェルトピック

母の日や敬老の日、クリスマスなど記念日に送るお花に添えてはいかがでしょうか。

¥100(税込)



柚子けーき

京都水尾地域で採れる、柚子の果汁・果皮をふんだんに使用し、甘さの中にある酸味が、後味をさっぱりとさせてくれます。

¥240(税込)



フリーカップ、フリーカップ(小)

スマートな、使いやすいサイズのカップです。冷たいものから暖かいものまで、どんな飲み物を入れてもぴったりです。

フリーカップ ¥1,800(税込)

フリーカップ(小) ¥1,600(税込)



フェルト製品

フェルトボールを利用したクリスマスリース。

¥400(税込)～



抹茶ふいなんしゅ

京都宇治田原町にある「小山園製茶場」さんから直接届く抹茶は、550年の間、代々守られてきた土地で栽培されています。安心・安全な土地で育てられた、湿じりっ気のない薫り高い抹茶。そんな抹茶を使用し、隠し味にホワイトチョコを使うことで、しっとり抹茶の香りが引き立つフィナンシェに仕上げています。

¥240(税込)



三角皿

他ではあまり見かけることのない、ユニークな形のお皿です。食卓のアクセントにおすすめです。

¥1,200(税込)



妖怪人形

利用者の方が、一つ一つ、手作りされた陶人形です。個展が開かれたり冊子に掲載されたり、注目の作品です。

大きいもの ¥700(税込)

小さいもの ¥500(税込)



商品カタログ

SHUKO-GAKUEN Product catalog

修光学園の
とおき
を
あつめて
みました



グリルチキンサンド

グリルチキンとにんじんらべのサンドです。ボリュームがあり、食べ応えのあるサンドです。

¥350(税込)



オニオン

チェダーチーズとハムを包み、マヨネーズと玉ねぎを絡めたものとチーズをトッピングしています。

¥350(税込)



ラムレーズン

手作りのラムレーズンバタークリームをサンドしています。

¥200(税込)



クロワッサンオザマンド

アーモンドクリームをサンドし、上にもアーモンドクリームをのせて焼き上げました。

¥180(税込)



茶山ロール

京都産の米粉「ミズホチカラ」を使った口溶けのよいふんわり生地で、京都産「とち蜂蜜」を合わせた軽めのクリームを巻きました。

カット ¥300(税込) 1本 ¥1,400(税込)

CARISCOFFEE

メキシコベラルクス州奥深い山頂にある「Lacasona農園」にて大切に育てられたコーヒー豆を、なめらかなコクを感じる深煎り焙煎にしてお届けします。焙煎前に生豆の中から欠点豆(カビ豆や虫食い豆)を丁寧に取り除き選別することで、えぐみやにこりのないフレッシュでクリアな一杯を目指しています。

¥600(税込)



京の黄真珠で作った 柚子胡椒

鷹の爪の約2倍の辛さと言われる「京の黄真珠」という黄色い丸型のとうがらしと、日本の柚子発祥の地「水尾の柚子」、丹後夕日ヶ浦の海水から作った塩「翁乃塩」。全て京都産の3つの食材のみで作った辛みの強いオリジナル柚子胡椒です。

¥750(税込)



ZakZakシュークリーム

濃厚なカスタードクリームに、特製生クリームを混ぜ合わせ、「ザクザク」食感のクッキーシュー生地に詰め込みました。

¥280(税込)



シュトレン

期間限定販売のシュトレンです。定番のシュトレンに加えて、バレンタインに合わせた「チョコレートシュトレン」、ホワイトデーに合わせた「ホワイトシュトレン」をそれぞれの時期に合わせて期間限定で販売します。

クリスマスシュトレン

¥2,000(税込)

チョコレート・ホワイトシュトレン
各¥1,000(税込)



SNSで
発信中!



修光学園



harvesthome
HOLYLAND



CARISCOFFEE



茶山sweets
Halle

ネット
販売中!



修光学園
(BASEショップ)

【Ⅲ 2021年度 マスタープランの推進状況】

01. 法律・制度等への対応

(1) 障害者総合支援法、次期報酬改定への対応

2018年4月に施行された改正障害者総合支援法について、現在法人の実施する事業に対して活用できるメニューが存在する可能性も含め、内容の分析と情報収集を行い、今後の中長期的な事業運営への影響等について協議検討を進めました。2021年度には生活介護事業所「修光学園」の定員変更、重度障害者支援加算の取得を行い、支援内容の充実に加えて、給付費収入の増加につなりました。2021年4月に実施された報酬改定と、改定に伴う制度上の取り扱い変更事項の分析を行い、法人運営上で有利となる体制を整えました。また、2021年12月には、施行後3年を目途として施行の状況等を勘案しつつ検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずることと規定された、いわゆる「施行3年後の見直し」についての中間まとめが厚労省社会保険審議会（障害者部会）より発出されました。内容の精査とともに、各種団体の活動を通じて、国への改善要望を行うべく情報収集を中心に取り組みました。

(2) 障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等への対応

障害者虐待防止法、障害者差別解消法（禁止条例）、成年後見制度などの障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等の適切な理解と、制度の活用を進めました。虐待が発生するメカニズムについて全職員の適切な理解を深め、「より良い支援」を提供していく取り組みを積極的に進めました。また、法人の実施する全てのアクションにおいては、国連の障害者権利条約の内容をその指標として常に持ちあわせることを目指し、真の共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。

03. 福祉サービスの提供

(1) サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資する取り組み

運営理念や基本方針等に基づき、福祉サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資するため、以下の取り組みを継続して行いました。

●これまでに受診した福祉サービス第三者評価の結果をふまえ、マニュアル等の整備やサービス内容の改善を進めました。延期をしていた修光学園の再受診については、2021年度に計画通り受診することが出来ました。

一、運営理念及び基本方針等の徹底

法人の運営理念や基本方針、倫理綱領等を役職員に周知し、法人として進むべきビジョンを明確にするために、役員会や職員会議の場において理事長、施設長等から表明する機会を複数回に渡って設けました。また、新規採用職員研修会、全体職員研修会の場においても、法人の成り立ちや与えられた使命、法人理念や基本方針に基づいて事業所、職員がそれぞれの役割を担うことの重要性について周知徹底する機会を設けました。さらに、法人の設立日を記念して、10月1日には、修光学園祈念碑の前に役員が集い、法人設立に関わった諸氏の思いと功績に触れ、当時から変わらない福祉にかける熱意と、利用される方への献身的な姿勢を共有し、感謝する場としました。

二、サービスの質の向上

サービスの質の向上を図るため次のことを継続して行いました。
●法人組織に設置したサービス向上委員会の活動を充実させ、職員等による「不適切な支援（＝虐待）ゼロ」をスローガンとして多角的にサービスの質の向上を図りました。具体的には、利用者支援に直接関わるのあるマニュアルの改定作業、職員間の風通しの良い関係づくりを目的とした座談会企画、職員個人の日々の業務を振り返る「サービス向上セルフチェックシート」の実施、虐待を防止し、サービスの質を向上するための全体研修会の企画開催などを行いました。
●2013年度に制定した倫理綱領が職員全員に浸透するように、会議資料や規程集への掲載、事業所内への掲示などの取り組みを進めました。

三、人材の確保・育成・定着に資する取り組み

質の高いサービスを継続的に提供するため、次のことを継続して行いました。
●より良い人材を確保できるように、職員募集時期の見直しや、大学・専門学校等に対する採用活動を行いました。また、「きょうと介護・福祉ジョブネット」事業への参画により行政、事業者、大学等との情報交換や連携強化を実現することが出来ました。
●2018年度に設置した、「人材採用・育成特命チーム」を中心に、福祉就職フェアへの出席、大学等の事業への参画の他、新規採用職員に対するフォローについても研修実施など具体的な実績がありました。2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で、オンラインを活用したインターンシップや法人PRの機会を逃すことなく、積極的な採用活動を展開することが出来ました。
●法人組織に設置した研修委員会の活動を充実させ、個別・計画的な研修の受講、キャリアの形成に導くシステム作り等を進めました。具体的には、職員研修年間計画、研修受講、資格取得履歴、キャリアアップレベル指標の見直し等の取り組みを継続しました。
●全職員の有資格化を目指して、職員の福祉系資格の取得を奨励し、またスキルアップを支援するため、「在職者資格取得・スキルアップ支援事業」を継続運用しました。2021年度中の申請・適用はありませんでした。
●全ての職員が充実して職務に励しみ、ライフワークとして職場に定着出来るために実施しているメンタルケア・ハルスケアシステム、職員のキャリアアップに対する希望等を把握するためのヒヤリング実施などの取り組みを体系化した「社会福祉法人修光学園ヘルスケア・トータル

02. 財政・経営の改善

(1) 事業と財政の健全化

2020年度に行った大規模な人事により、人件費率をセーブする効果が表れました。また、各事業所で新規利用者の受け入れや利用率の向上、各種加算の効率的な取得に取り組んだことで、収支状況は回復状況を維持しています。
2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期に渡っていることにも留意し、引き続き給付費収入の増収を図ると共に、新たな加算取得、介護職員処遇改善加算、民間助成金等の活用、さらには、一部事業のスリム化にも範囲を広げ、事業と財政の健全化を図りました。また、2020年4月から段階施行を進めている福祉職員のキャリアパス制度の具体的な充実を目的とした給与システムの改革を、2021年度には新俸給表の導入や、キャリアアップレベル指標を基にした評価の仕組みを進めるためのプロジェクトチームを編成し、1年をかけて内容等の検討を行いました。
国の経済対策「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、障害福祉職員の収入を3%程度引き上げるための措置として導入された「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」(2022年2月から9月までの8か月間)を本法人でも申請し、職員の手当てに反映する取組みを行っています。

(2) 経営改善に向けた中長期計画の確立

2020年度を開始期とする5ヵ年計画「社会福祉法人修光学園アクションプラン2020」を推進し、「法人経営の基本方針」と「法人の行動基準」の一層の具体化を進めました。

サポートシステム」を継続運用しました。また、福利厚生サービスとして、保険会社との提携による健康相談サービス、メンタルケアカウンセリングサービスを継続導入し、職員への周知を行いました。
●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

(2) 各事業所の機能強化と個別支援の充実

複数の事業形態で事業所運営を行っている法人全体のスケールメリットを活かし、各事業所の機能を強化し、雇用就労の促進、工賃（利用者賃金）の増額、日中活動支援の充実、生活支援の充実等に取り組みしました。就労継続支援事業では、製品レベルの向上や販路拡大をさらに助長させ、製パン部門や製菓部門では大きな成果をもたらしました。また、生活介護事業やグループホームにおいては、医療機関やリハビリテーションの専門機関等との連携を強化し、ご利用者の健康増進、日常生活能力の維持向上に力を注ぎました。さらに、相談支援事業でも、相談スキルの向上や他法人事業所とのネットワーク構築に向けて対外的なアプローチを積極的に行いました。
各事業所の機能強化と分化、また、HOLYLAND建物の建て替えを軸とする法人事業全体の再編については、2020年度に開所した新事業所「光の家アクティブセンター」、「修光学園ショートステイhikari」の稼働により第一段階の完了を見る事が出来ました。今後、これらの再編をますます加速させて参ります。

(3) 新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現行の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。2021年度は各事業所での新規利用者の受け入れと、短期入所事業の受け入れを拡大しました。

2021年度 社会福祉法人 修光学園の歩み

【I 概説】

2018年度の障害者総合支援法一部改正報酬改定を一つの契機として、法人全体の収支バランスの不均衡が顕著になり、財政再建を最重要課題に据えた多年にわたる取組みを開始しました。人件費率の上昇が一つの原因ではありましたが、一律に職員処遇を低く抑えるのではなく、特定処遇改善加算を原資とする福祉系国家資格保持者に対する資格手当の充実、委員会活動に携わる職員や、社会的にも意義深い実習受け入れに関わる職員に対する手当支給など、いわゆるメリハリのある配分を意図した改定を行いました。また、従来の「キャリアアップレベル指標」を基にした新たなキャリアパスの仕組みの導入に向けて、役職者による検討と、職員との対話を継続して実施して参りました。2021年度には新俸給表の導入や、キャリア



2021年度新規採用職員を迎えて

アップレベル指標を基にした評価の仕組みをさらに具体的に進めるためのプロジェクトチームを編成し、1年をかけて内容等の検討を行いました。
厳しい財政状況にありながらも、2020年には念願の「新事業所「光の家アクティブセンター」」の開所を実現しました。ここには同時期に行った大規模な人事（＝管理職員の削減と一般職員の配置数変更や、職員のキャリアパス制度の具体的な充実を目的とした給与システムの改革による、人件費率を適正化する取り組み）の効果が表れています。
新型コロナウイルス感染症は、ご利用者やご家族、職員を含む多くの人々の生活に大きく影響を及ぼしているものの、事業所の収支の上では幸いにも低く留まっています。コロナ禍においても、各事業所で新規利用者の受け入れや利用率の向上により給付費収入の増収を図ると共に、新たな加算取得、介護職員処遇改善加算、民間助成金等の活用、さらには、一部事業のスリム化にも範囲を広げ、事業と財政の健全化を図りました。

一方で、2021年12月には、障害者総合支援法施行後3年を目途として施行の状況等を勘案しつつ検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずることと規定された、いわゆる「施行3年後の見直し」についての中間まとめが厚労省社会保険審議会（障害者部会）より発出されました。この中間まとめにはサービスの質の評価やサービス体系再編の視点も含まれており、内容の精査とともに、各種団体の活動を通じて情報収集を行っています。
ここ数年の課題である法人全体の収支バランスの悪化を、このようにして改善へと導いていくか、会計や組織運営の専門家も交えながら年間を通じて協議検討を重ねて参りました。単純な経費削減に終始することなく、職員のキャリアアップの仕組みの充実をはじめ、持続可能性のある組織へとさらなる成長を図ることを願って取り組んだ法人並びに各事業所の2021年度事業結果を以下のとおり報告します。

【Ⅱ 新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について】

2020/2/28 第1版配布(学校等の休校措置が提示されたことを受けて)	2021/1月～2月(事業所単位の職員の自宅待機等に伴う臨時的な対応について)
2020/04/8 第2版配布(特定都市に緊急事態宣言発令を受けて)	2021/4/23 第10版配布(3度目の緊急事態宣言発令を受けて)
2020/04/13 第3版配布(密の回避、接触を減らす目的で利用自粛を要請)	2021/5/28 (緊急事態宣言の延長に伴う対応について)
2020/04/17 第4版配布(緊急事態宣言が全国へ拡大。職員の在宅勤務を開始)	2021/7/28 新型コロナウイルスのワクチン接種に関する情報提供について
2020/05/01 第5版配布(利用自粛の延長対応要請)	2021/8/19 (緊急事態宣言発令下における事業活動の実施体制)
2020/05/25 第6版配布(利用の一部再開)	2021/12/24 (年末年始を迎えるにあたって)
2020/06/19 第7版配布(利用の全面再開)	2022/1/28 (陽性者・濃厚接触者発生時の対応等)
2020/12/26 第8版配布(年末年始を控え、感染防止策の継続実施)	その他・・・分かりやすい感染防止対策のチラシ、健康観察シートの配布
2021/01/13 第9版配布(2度目の緊急事態宣言発令を受けて)	

生活介護事業

陶芸作業

練り込み技法を中心とした
陶芸製品の製作



ご利用者
8名

班体制を製作班と製品管理班に分けることで、効率的に活動が行えました。光徳学区より、フリーカップの注文をいただき、納品しました。フリーカップやコーヒーカップの大量注文がありましたが、製作と箱詰め梱包作業とを分担することにより、効率よく作業を進め、スムーズに納品することができました。また製品の売上動向、在庫数、検品結果等を製品管理班と共有することにより、製品を計画的に製作し、在庫量の安定化を図りました。

陶芸作業以外に、買い物等の外出やウォーキングの機会を計画的に設定しました。あうる京北で行われた福祉高齢者施設合同作品展では、展示のみならず、製品をアピールし、販売も行いました。

【販売先】

京都ほっとはあとセンター、はあと・フレンズ・ストア、アノニム・ギャラリー(長野県)、スリーパンズ、ぎんぎん堂で委託販売を行いました。恒例の五条坂陶器まつり、清水焼の郷まつりは、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

表現活動

描く、作る、聴く、身体を動かす
等の個々の思いを表現する活動

5月には、タンポを使つての絵画制作、6月には、紙の色塗りや、その紙を細かくちぎって立体製作を行いました。8月には、スライム作りをしました。絵の具やパステル、糊など、さまざまな素材に触れる体験の機会を持ちました。動画を視聴しながら体を動かし、一緒に歌うなど各々でお好きな形で楽しめました。作業班単位で協力して「虹」をテーマにして作品を作り、WEB展覧会に出展し、学園内で展示しました。



企業提携・クラフト・陶芸製品管理

紙製品、フェルトや刺し子製品の
製作及び企業提携作業など



ご利用者
20名

ご利用者が視覚的に一日の作業等のスケジュールが見通せるように作業環境を整備しました。ご利用者の作品展等を通じて、新規販売先や顧客の開拓に努めました。納品の際などに、提携先企業とのやり取りを通して、社会人マナーやコミュニケーション面のスキルアップの機会を設けました。陶芸製品の在庫管理や販売準備作業の効率化を図るため、ケースにラベルを添付し、製品を整理しやすくするなど、活動内容の具体化を進めました。陶芸製作部門と連携を取り、検品の結果や在庫数等の情報を交換することにより、よりよい製品作りに反映させました。ご利用者の個性を生かした彩色を用いてオリジナルのショップカードを作成しました。

【販売先】

京都ほっとはあとセンター、ぶらり嵐山、はあと・フレンズ・ストア等

【提携先】

中村鋲螺株式会社、京都紅茶倶楽部、他

利用者主体の活動

ご利用者が修光学園自治会の会員となり、
ご利用者が主体の活動を行いました。

- ・総会、役員会等、案件に応じて随時実施開催
- ・レクリエーションの内容を検討
- ・園内清掃
- ・安全や防災、権利擁護などについての学習
- ・事業説明会を開催
- ・園内で楽しめる企画を検討・実施

■5月22日…事業説明会

■7月3日…交通安全学習会

■7月17日…自治会総会にて役員を選出し承認。前年度の自治会活動が十分に行えなかったことから、前年度の役員全員が再任されることになりました。

■7月31日…夏祭り

■9月25日…買い物学習「Halle!のお菓子を買ってみよう」

■10月9日…ミニ運動会(風船バレーボール大会)

■11月27日…紅葉狩り(赤山禅院散策)

■2月5日…お正月遊び

※新型コロナウイルスの感染予防のため、館内や、近くの混みあわない場所を選んで活動を行いました。

社会参加支援事業

【行事】

10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式

11月20日・2月19日 …修光学園オープンデー(※中止)

12月11日 …クリスマス会

1月16日 …成人式

8月21日・12月4日・3月12日 …ランチデイ



成人のお祝い

福祉人材の育成

見学希望の方には、手続きを経た上で、
随時見学していただきました。

【見学の受け入れ】

10月27日 …大谷大学 2名

10月27日 …京都保育福祉専門学院 1名

11月11日 …佛教大学 1名

【研修・実習の実施】

10月29日 …大谷大学 1名

2月21日 …京都保育福祉専門学院 1名

根気が必要な陶芸や企業提携作業、
立体作品制作などの取り組みをコツコツと！

修光学園は、日常の生活の自立と就労による社会参加を目指し、就労支援や生活支援を行っています。作業活動は、陶芸班、企業提携・製品管理・クラフト班の2班で編成され、オリジナル製品の制作に取り組んでいます。



ストレッチをすると
体もすっきり！



同じ種類のネジを袋詰めしていきます。細かく根気のいる作業です。



陶芸作業は細かい部分
まで丁寧に仕上げます。



新たにに取り組んでいる試み

サービス管理責任者 ^{わた なべ ひとし}
渡辺 仁 さん

ストレッチ&ウォーキングを定期的の実施中

2021年度後半から「ストレッチ」「ウォーキング」の2つを毎週月曜日の午後に実施しています。ウォーキング組は車で鴨川河川敷の公園へ行き、広い空のもとで散歩を楽しみます。ストレッチ組は館内でマッサージやストレッチを。ストレッチは床に手をつくため、開始前に皆で掃除をします。床や机を拭くなど皆で協力し、体を自然に動かす活動にもつながっています。なかには月曜を楽しみにし、昼食の後に上着を用意して待っている方も。また一緒に体を動かすことで、「今日は歩き方に元気がないな」「体が硬いな」と体調の変化に気づくこともできます。今後は細かいニーズに応えられるよう工夫をし、無理なく体を動かせる活動を広げていきます。

事業の要点 修光学園

- ①2021年度は昨年同様、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年だったと言えます。年度初め早々の4月12日には京都府においてまん延防止等重点措置の措置区域に京都市を指定し、その後4月25日には緊急事態宣言を発令し、9月末までの間にこれらを経て、引き続きに警戒を行う体制になりました。秋ごろには一時的な感染拡大の鈍化が見られたものの、冬には新株の台頭により感染者は急増し、修光学園でも3月に利用者1名が陽性診断を受けられ、3月26日から29日までの間を臨時的に休所して収束待ちました。幸いにも感染された方は重症化されることはありませんでしたが、事業所として濃厚接触があったと判断した職員とご利用者のPCR検査を事業所内で実施する、初めての経験をしました。
- ②生活介護事業所としての役割を強化し、発達障害の方々にも効果的な個別スペースの設置や視覚支援などの取り組みを行いました。職員のスキルアップや体制整備を進めるため、自閉症eサービスの研修受講、強度行動障害支援者養成研修の受講を行いました。
- ③日常生活上の健康管理と運動機会の提供を行うために、屋外でのウォーキングをプログラムに位置付けて年間を通して実施しました。また、月に2回程度、専門職の指導や協力の下で館内でのストレッチを中心とした支援を行いました。
- ④2021年度から新たなプログラムに位置付けた表現活動(創作、アット、音楽活動など)を定期的に行い、ご利用者の得意な領域を見出すことや、グループ制作を行うなど、様々な形で表現を支援する取組みとなりました。作品は館内掲示やSNSへの掲載、全国的障害福祉関係職員研究大会(京都大芸のオンライン展覧会への出品など)で披露しました。
- ⑤相談支援事業所と連携し、他法人のグループホームを利用されているご利用者の生活に関するフォローを継続して行いました。
- ⑥他法人の生活介護事業所を利用されている方1名から利用希望があり、7月からの体験利用を経て、土曜開所日のみの利用契約を結び、正式にご利用を開始されました。
- ⑦事業計画に掲げていた「福祉サービス等第三者評価の受診に向けて職員全員で自己評価を行い、3月8日に評価機関による訪問調査を受けました。
- ⑧サービス向上委員会が中心となり、8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「支援の質の向上に向けてわたしたちが出来ること」というテーマで全体職員研修を実施し、事業所ごとにグループワークを行い、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。また、その後の会議でも継続検討を行い、全体研修で抽出された課題を改善する方法を模索しました。

生活介護事業

製品製造・企業提携作業

フェルト製品、刺し子布巾、布マスク、布小物アクセサリなどの自主製品づくりと販売、紙器加工などの企業と連携した作業

■銀花園からフェルト製品を使ったピックを年間通じて注文を受けました。

■ブラザ修学院のヒロが刺し子布巾を購入してくださいました。

■ブラザ修学院のフラワーショップ トコと松ヶ崎にあるフラワーショップ歳時樹が母の日ピックを購入してくださいました。

■布マスクを製作し、法人内事業所にて委託販売を行いました。また、クリスマス会のプレゼントとしてタペストリーの注文を受けました。

■布の端切れを活用し、ヘアゴムなどのアクセサリを製作しました。

■法人内事業所ワークセンターHalle!の紙器加工の作業を請け負い、定期的に納品を行いました。

【販売先】

フラワーショップ歳時樹、銀花園、トコフラワーショップ、毛糸店ヒロ、法人内事業所

運動・リハビリ活動

体力維持、健康維持につながる身体的ケア(ストレッチや体操など)や、生活機能・身体機能の維持向上への取り組み(体幹機能訓練や歩行訓練など)を行いました。

社会参加支援事業

【事業所の行事】

10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式 6名
12月9日、12月16日 …ひかりファミリーデー 9日7名、16日12名
12月24日 …クリスマス会 22名
1月15日 …成人式 11名
11月3日、11月23日、2月23日…ランチデイ 延べ64名
3月31日 …お疲れ様会 22名



利用者主体の活動

6月28日…役員自己紹介、代表決め
9月9日…会長決め
12月23日…クリスマス会役割分担
3月30日…お疲れ様会について話し合い、今年度の振り返り



福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【見学の受け入れ】

3月11日…文教大学 1名
3月29日…龍谷大学 1名

【研修・実習の実施】

11月1日～12日…佛教大学 1名 保育実習
10月18日～29日…佛教大学 1名 保育実習
2月7日～21日…京都保育福祉専門学校 1名 保育実習



自分のペースで好きな手作業をしながら、ゆったりと過ごす

光の家アクティブセンターは、2020年4月に開設しました。作業活動に加えてリハビリテーションや食事、入浴サービス等を提供し、ご利用者一人ひとりの保有能力の維持向上に取り組んでいます。

人気の体操もみんなで一緒にやるとさらに楽しい!



箱折作業は自分のペースで進めます。



光の家 アクティブセンター

HIKARI NO IE [生活介護事業]

フェルトで小物を制作。



ストレッチで身体をほぐします。



新たにに取り組んでいる試み

支援スタッフ まえだちか 前田 智香 さん

光の家の施設前で、焼きたてパンの販売をスタート

2021年春から「焼きたてパンの販売」を始めました。飛鳥井ワークセンターで製造したパンを、光の家の前で販売しています。売り子ご利用者とスタッフ、ボランティアメンバーです。「いらっしやいませ」「ありがとうございます!」お客様とのやりとりも賑やか。車椅子使用の方も、言葉が出にくい方も、お揃いの帽子とエプロン姿で、身振りや表情でお客さんにお礼を伝えます。普段の作業は室内での箱折りや刺し子、布の髪留めやふきん制作が中心。こんなふうに出て、地域や社会の人とつながる機会はとても貴重です。地域の中でお互いが「知り合う」ことは、インクルーシブ社会を築くための大事な一歩。これからも販売の機会を通して、地域と信頼できる関係を築いていきたいですね。



焼きたてパンの販売、「ひかりのパン屋」がスタート! ご近所の人にも好評。

事業の要点 光の家アクティブセンター

①新規開設から2年目となる2021年度は、昨年度から継続して新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩みを進めました。年度初め早々の4月12日には京都府においてまん延防止等重点措置の措置区域に京都市を指定し、その後、4月25日には緊急事態宣言を発令し、9月末までの間にこれらを繰り返しながら継続的に警戒を行う体制になりました。秋ごろには一時的な感染拡大の鈍化が見られたものの、冬には新株の台頭により感染者は急増し、光の家アクティブセンターでも1月に利用者1名が陽性診断。同時期に職員家族の陽性診断があり、1月19日から27日までの間を臨時に休所して収束待ちました。幸いにも感染された方は重症化されることがなく、また、それ以降は最大限の予防策をとりながらも平常の活動に戻ることが出来ました。

②開設初年度には行えなかった取り組みとして、事業所の駐車スペースにて、飛鳥井ワークセンターのパン商品の販売を月に一度近隣の方向けに開始しました。継続して行うことで、購入して下さる方が定着し、ご利用者にも接客を経験していただくなど、充実した取り組みとなりました。また、12月には「ひかりファミリーデー」を開催し、ご家族の方に活動中の見学をしていただき、家族同士も交流していただく内容としました。

③日常生活の介護や健康管理、運動や機能訓練プログラム(リハビリ)を提供するために、専門職の指導や協力の下で支援を行いました。また、運動器具の購入など、設備面の充実も図りました。

④生活介護事業の中において、作業活動も生活支援の一つの柱という考えに基づき、作業活動を効果的に取り入れていきました。

⑤2021年度から新たなプログラムに位置付けた表現活動(創作アート、音楽活動など)を定期的に行い、ご利用者の得意な領域を見出すことや、グループ制作を行うなど、様々な形での表現を支援する取り組みとなりました。作品は館内掲示の他、SNSへの掲載、全国的障害福祉関係職員研究大会(京都大会)のオンライン展覧会への出品などで披露しました。

⑥福祉人材の育成に資するため、保育士養成課程の施設実習として2校から実習生を受け入れました。

⑦サービス向上委員会が中心となり、8月にサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、支援の質の向上に向けてわたしたちが出来ること、というテーマで全体職員研修を行い、事業所ごとにグループワークを行い、虐待、身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。また、その後の会議でも継続検討を行い、全体研修で抽出された課題を改善する方法を模索しました。

就労支援事業

2021年度の平均工賃
19,879円

製パン課

ご利用者
15名

各種パンの製造、店舗販売、
注文販売、出張販売

スタッフ2名の異動にともなう製パン技術の引き継ぎを行いました。
年間を通じて随時、季節商品(期間限定商品)を中心とした新商品の開発と既存商品のブラッシュアップを図り、商品力の向上に努めました。
原材料の値上げに伴い、全商品の原価計算をしたうえで、価格改定を行いました。
店舗が閉まっても店舗のPRが出来るように、店舗のガラスに店舗名を表示しました。製パン機器の老朽化による故障が相次ぎ、スライサー、フライヤー、パイローラーの更新、部品交換を行いました。
HACCP義務化に伴い、利用者と職員で衛生管理について押さえ直しを行いました。また、毎日手指の爪や傷、作業着等のチェックおよび、掃除等を実施しました。
既存の定期販売、受注に加えて新規で毎月1回光の家アクティブセンターで行う地域向け販売用のパンを受注するとともに、5月から月に2回京都福祉サービス協会からの受注納品を行いました。また不定期で八瀬保育園や京都中央信用金庫からの注文をいただきました。1月からはノートルダム女学院中学高等学校、3月からはイズミヤ高野店で販売を行いました。

調理配食課

ご利用者
10名

各事業所の昼食配膳、
グループホームへの夕食配食

季節感のあるメニューや、新メニューなどを検討し提供しました。
指示書などを使い、作業を選んで自分で考えながら作業に挑戦できるよう取り組みました。また、利用者の調理技術向上のために、土曜出勤日を利用して利用者の考えたメニューを調理する機会を設けました。
衛生管理に必要なHACCPの考え方を取り入れた日誌の活用を行うとともに、手洗いの方法等について、利用者に分かりやすいようにイラスト入りで掲示を行いました。
京都市からの依頼を受け、京都府の補助を活用して『京の黄真珠から作った柚子こしょう』の開発を行いました。京の黄真珠生産組合のすこやか嵯峨野ファーム、水尾特産品加工組合などの生産者さんと協力して京都産の素材を使った柚子こしょうが完成し、3月より販売を開始しました。



企業提携課

ご利用者
38名

青果類の計量及び袋詰め作業
ねぎの皮むき作業

企業提携課では、地元の企業との連携により業務を受託し、利用者への日々の就労支援を行いました。
(株)なかむらとの提携作業では、「施設外就労」の場として機能を充実する中で、今年度は利用者3名がパート就労を継続しています。
企業提携課の主たる3つの作業をスタッフが交代で担当する形をとり、作業と利用者の情報共有を図りました。スタッフ間の日々の情報共有を密にすることで、各グループ間で作業の適切な分配を行い利用者への日々の作業を確保することができました。
利用者支援においても、個別対応が必要な場面ではスタッフ間の連携を図り、チームで支援にあたれるよう支援体制を工夫しました。



毎日仲間と一緒に働くのが楽しい！

飛鳥井ワークセンターは、従業員(ご利用者)の自己選択と自己決定を尊重し、就労による自己実現を支援しています。就労支援では、製パン課、企業提携課、調理配食課に分かれた就労の機会を提供するとともに、生活面の充実に向けた支援にも取り組んでいます。



丁寧に混ぜながら吹きこぼれないよう気をつけます。



みんなが美味しいと言ってくれるのが嬉しいです！



昼食までの時間内に仕上げるので集中して作業します。



パンの生地をこねて丸い形にするのは楽しい作業。



野菜の袋詰めもテンポよく進めます。

ネギの皮剥きは人気の作業。ざいれいに剥くのは任せて！



大好評の京の黄真珠を使った「柚子こしょう」。

新たに取組んでいる試み

副センター長・サービス管理責任者 **石田 靖 さん**

京の黄真珠®から作った「柚子こしょう」が大ヒット

新しい京野菜・黄色いとうがらし「京の黄真珠」と「水尾の柚子」、京丹後・平釜炊きの「翁乃塩」。この3つの京都産素材を混ぜ合わせて作った「柚子こしょう」(90g750円)を2021年から発売しています。柚子の香りの後にパンチの効いた辛さがやみつきになると評判に。さらにホテルのシェフの目にとまり、「店で使いたい」と販路が広がるヒット商品になっています。イベントでは利用者さんと職員が販売を担当し、自分たちで作ったものが売れるおもしろさと責任を実感しています。これからこの商品を大事に育てていきたいですね。 ※京の黄真珠®は、京都市と株式会社ギャバンの登録商標

就労移行支援事業

就労移行支援…ご利用者4名

ご利用者一人ひとりの目標や課題にあわせ、飛鳥井ワークセンター各作業課でのトレーニングに取り組んでいたくとともに、必要に応じてビジネスマナーの学習を実施しました。11月に1名の方が企業就労をされました。就労移行支援関係諸機関との連携を通じて、担当スタッフの質の向上と、障害者雇用についての情報収集に努めました。

【連携先】京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都市保健福祉局障害保健福祉推進室、他の就労移行支援事業所、一般就労先各企業、相談支援事業所、地域包括支援センター

就労定着支援…ご利用者1名

一般就労をされた方の精神的サポートや他の就労移行支援諸機関との協働、就労先担当者との連絡調整を行いました。また必要に応じて、関係諸機関によるケースカンファレンスを実施し、生活環境の改善等の支援を行いました。

【連携先】京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都市保健福祉局障害保健福祉推進室、他の就労移行支援事業所、一般就労先各企業、相談支援事業所、地域包括支援センター

福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【研修・実習の実施】

8月17日～9月17日 …佛敎大学(3回生) 2名 社会福祉士資格取得実習
8月17日～9月17日 …花園大学(3回生) 1名 社会福祉士資格取得実習
8月19日～9月22日 …京都ノートルダム女子大学(3回生) 1名 社会福祉士資格取得実習
8月23～24日 …京都府 福祉職場インターンシップ 3名 夏期インターンシップ(オンライン)
10月4日～11月5日 …大谷大学(3回生) 2名 社会福祉士資格取得実習
1月22日・1月31日～2月4日 …同志社大学(1回生) 3名 社会福祉士資格取得実習
※新型コロナウイルス陽性感染者が確認されたため1月31日で中止
2月24日～25日 …京都府 福祉職場インターンシップ 3名 春期インターンシップ

事業の要点 飛鳥井ワークセンター

●2021年度も前年と同様、新型コロナウイルスに翻弄された年でした。年度初め早々の4月12日に京都府がまん延防止等重点措置の措置区域に京都市を指定し、その後4月25日には緊急事態宣言を発令。9月末までの間にこれらの動きを繰り返しながら継続的に警戒を行う体制になりました。秋ごろには時局的な感染拡大の鈍化が見られたものの冬には新株の台頭によって感染者は急増し、飛鳥井ワークセンターでも月末から2月にかけて、職員・利用者9名が新型コロナウイルス陽性の診断を受けました。中には事業所内で感染したと考えられるケースもあり、感染力の強さと感染対策の不十分さを痛感させられました。2月1日から2月12日まで約2週間、事業所を休所することでそれ以上の感染拡大は抑え込むことが出来ました。
行事もほとんどのものが通常どおりに行えず、お祭りや旅行の代替行事として10月に「飛鳥井スベシャルオリンピック」を開催。12月のクリスマス会、1月の成人式は規模を縮小して開催しました。作業活動では、新京野菜ブランド「京の黄真珠」の未成熟の実を使った商品「京の黄真珠から作った柚子こしょう」を開発しました。開発にあたっては、京都府の補助金を活用し、3月から発売にこぎつけることが出来ました。開発にあたっては「京の黄真珠」「水尾の柚子」「翁乃塩」という京都府産の厳選素材を使用するとともに、商品開発は嵯峨美術大学の学生に作成していただきました。この取り組みは京都市・京都府・大学・農家福祉事業所を巻き込んだ大きな動きとなり新聞でも報道され、暗い話題が多い中、2021年度の明るい話題となりました。
●生産活動及び就労支援の充実
『就労移行支援事業』2021年度は1月に1名の方が就職されました。『就労継続支援B型事業』新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けましたが、国による緊急事態宣言発令時でも売り上げは比較的好調で安定して仕事を継続することが出来ました。
2月に職員・利用者合わせて9名が新型コロナウイルスの陽性診断を受け、2週間休所しました。この間、利用者は在宅支援に切り替えて対応をさせて頂きました。またスタッフについても事業所内での感染防止のため、一時在宅勤務を実施しました。
『京の黄真珠から作った柚子こしょう』は3月に右京区役所で開催されたマルシェの出店を皮切りに、パン店舗での販売を開始しました。その他の各種販売会にも精力的に出店し、売り上げも好調に推移しています。
●社会福祉士養成現場実習の受け入れは、養成校と連絡を密にし、新型コロナウイルス感染対策に努めながら対応しましたが、2月の実習は受入開始直後に事業所内にコロナ陽性者が発生したため、以後の受入を中止させるを得ませんでした。インターンシップについてはオンラインによる施設紹介を行い、人材の確保に向けた取り組みを行いました。
●サービス向上委員会が中心となり、8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。9月にはセルフチェックシートの結果考察の他「支援の質の向上に向けてわたしたちが出来ること」というテーマで全体職員研修を開催し、事業所ごとにグループワークを行い、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。また、その後も継続検討を行い、抽出された課題を改善する方法を模索しました。

就労支援事業

2021年度の平均工賃
34,697円

製菓事業

各種洋菓子の製造、委託販売、
注文販売、店舗販売、OEM商品製造

ご利用者
8名

こどもの日、ハロウィンイベントを開催、クリスマスはケーキ販売(予約)、バレンタイン、ホワイトデーと期間限定商品を製造し販売促進に努めました。なお、新型コロナウイルス蔓延防止の観点からイベントチラシのポスティングなどはせず、SNSでの情報発信や店頭での告知のみに留めました。京都の生産者から仕入れた京都産フルーツを使用した「米粉シフォンのフルーツサンド」をリヤカーで販売をしました。1月前半はスタッフの勤務体制の都合から、店舗を閉めて製造作業のみで対応を行いました。オープン4周年記念のイベントも中止し、体制の立て直しを行いました。京都市のふるさと納税返礼品に「京都sweetsセット」が採用されました(継続中)。京都ノートルダム女子大学から大学創立60周年記念の商品製作の依頼を受け、共同開発に取り組みしました。

【販売先】

茶山 sweets Halle!のほか、HOLYLAND飛鳥井店、京都ほっとはあとセンター各店舗、じねんと市場、はあと・フレンズ・ストア、(株)高島屋(オンラインストア)等の委託販売店ならびに、各種販売会等で販売(新型コロナウイルスの影響でほとんどが中止)



社会参加支援事業

6月19日 …小グループ慰労会(※中止)
6月22日~24日 …映画観賞会in Halle
10月1日 …社会福祉法人修光学園 設立記念式
10月4日 …日帰り旅行(※中止)
12月20日 …miniクリスマス会
1月15日 …新年会(※中止)



紙器加工事業

箱折り、DM作業、企業提携、他

ご利用者
26名

企業との連絡を密にし、コロナ禍による受注量の落ち込みをカバーできるように取り組みました。DM作業の新規受注先として、新たに6社と取引を開始し、同時に作業の効率化を目的に作業日報フォームの見直しや使用物品の整理を行いました。加えて、これから力を入れていくDM作業においてご利用者の作業スキル獲得を目指した取り組みを行いました。DM作業においてご利用者の新たな作業獲得と効率化を図るために、封函機と重量検査機を導入しました。

【取引先】

山田紙業(株)、コトブキ(株)、福見印刷企画(株)、グラウンド、平安、ISA、雅ハンドワークサービス、(株)シマプリ、(株)プレスハウス、(株)デリバリーサービス、(株)オスカーヤマト印刷、(株)メービス、(株)芸州堂、京都市北部障害者地域自立支援協議会、京都府中小企業診断協会、日本セルフセンター他

福祉人材の育成

・福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。
・各種学校等と連携し、実習の目的に応じた実習生受け入れ体制を整えました。
8月25日・26日 …京都中央看護保健大学校 2名 公衆衛生看護学実習
3月2日 …1Dayチャレンジ 1名 作業見学及び研修

地域との連携と 地域福祉の推進・啓発活動

4月27日 …東山総合支援学校 2名
5月12日 …北総合支援学校 1名
5月26日 …プエルタ 1名
6月9日 …ハローワーク西陣 2名
6月15日 …京田辺市職員、グループホーム北部支援センター 2名
6月16日 …鳴滝総合支援学校 1名
6月16日 …プエルタ 3名
6月25日 …京都ノートルダム女子大学(フィールドワーク) 14名
7月2日 …京都ノートルダム女子大学(フィールドワーク) 14名
7月7日 …北総合支援学校 1名
7月9日 …京都ノートルダム女子大学(フィールドワーク) 7名
9月1日 …株式会社リーフ・パブリケーションズ 3名
9月15日 …北総合支援学校 1名
9月29日 …京都新聞社会福祉事業団 1名
11月10日 …個人 1名
11月25日 …大谷大学 5名
12月9日 …大谷大学 6名
2月25日 …インターンシップ 3名
3月10日 …KBS京都 3名
3月10日 …有限会社アイトス 1名

お菓子作りに箱折りなど、 いろんなことにチャレンジ!

ワークセンターHalle!は、従業員(ご利用者)が自立した社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、活動を通じて、知識及び能力向上のための必要な支援を行っています。



集中して丁寧に箱
折作業をこなします。



店頭でお客様をお迎
えするのが楽しい!



お菓子の焼き上がるい
い香りのする作業場。



新しい機械にも慣れて、スム
ーズに作業をこなします。



リヤカー販売

新たに取組んでいる試み

ワークセンター 統括センター長 **藤田 公智 さん**

リヤカーと重量検品機の導入で、2つの新しいことに挑戦

2021年度、Halle!では2つの新しい取り組みを始めました。ひとつは季節限定フルーツサンドのリヤカー販売です。職員がテレビでリヤカーの引き売りの様子を見て、「うちでもやってみよう」と思いついたのがきっかけです。コロナ禍でイベントがなくなり、出店販売ができなくなったこと、移動販売なら許可の手続きが不要という手軽さも背景にありました。職員がリヤカーを引き、希望するご利用者が交代でお客さんと対応します。週1回販売に行かせていただいた京都大学前では皆さんから「これ何? おいしそう」、「リヤカーがカワイイ。写真に撮りたい!」と好評で、季節の果物とクリームを挟んだフルーツサンドは、あっという間に売れていきました。もう1つは、重量検品機の導入です。ダイレクトメールの重量検品はこれまで手作業で、職員の手も必要でしたが、新しい機械の導入により、ご利用者がひとりでスイスイと正確に仕上げられます。これは、職員の仕事であった作業が機械の導入でご利用者の仕事に変わった、好事例となりました。今後も創意と工夫で効率のよい取り組みを目指します。

事業の要点 ワークセンター Halle!

①2021年度は昨年同様、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年だったと言えます。年度初め早々の4月12日には京都市においてまん延防止等重点措置の措置区域に京都市を指定し、その後、4月25日には緊急事態宣言を発令し、9月末までの間にこれらに繰り返しながら継続的に警戒を行う体制になりました。秋ごろには一時的な感染拡大の鈍化が見られたものの、冬には新株の台頭により感染者は急増し、ワークセンターHalle!でも2月にはご利用者1名が陽性診断を受けられ、2月8日から2月12日まで事業所を休止し、在宅支援に切り替える時期もありました。行事に関しても、ほとんどの行事が行えず、「映画観賞会」と「ミニクリスマス会」のみ、感染防止策を図りながら行うことが出来ました。

②生産活動及び就労支援の充実

【紙器加工事業】

ヤマト財団「夢のかけ橋実践塾」に職員1名を継続して派遣し、作業の効率化及び、目標を見える化する取り組みを行いました。封入封緘事業(DM作業)に関して、従来2社との取引だったものが8社に増え、1月にはヤマト財団の助成により、重量検品機を導入しました。取引先が増えるとともにスタッフの仕事が、従業員の仕事として取り組むことが出来るようになり、数値目標として年間100万円の取引を予定していたものが、約140万円の取引となりました。

③コロナ禍においても、実習生や見学者を積極的に受け入れ、福祉人材の育成、地域の福祉力向上に資する取り組みを行うことが出来ました。

④サービス向上委員会が中心となり、8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「支援の質の向上に向けてわたしたちが出来ること」というテーマで全体職員研修を開催し、事業所ごとにグループワークを行い、虐待、身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。また、その後も継続検討を行い、抽出された課題を改善する方法を模索しました。

地域生活支援・相談支援事業

共同生活援助事業 (グループホーム)

通院付き添いや服薬管理・服薬介助が必要な方が多く、日々の健康管理を強化し、バイタルチェックの実施、記録作成、申し送りの徹底などに取り組みました。医療機関との連携では、三嶋医院(修学院)、吉田歯科医院(浄土寺)などの地域の小規模医院との良好な関係が持続でき、実際に医療相談や診察に繋がっています。新型コロナウイルス感染症対策においても、医療機関の指導助言を得て、事業所単位、スタッフ個別の単位での感染対策に取り組みました。パプテスト訪問看護ステーションしおん(北白川)と法人間業務提携を結び、週1回の定期訪問を継続実施しました。また、平安調剤薬局(岡崎)とも連携を継続し、在宅患者訪問薬剤管理指導を受けています。訪問看護ステーションしおんの訪問看護及び訪問リハビリ、訪問医療マッサージKEiROWとの個別契約による利用を継続し、ご利用者に必要な医療ケア、身体ケアの充実を図りました。登録スタッフに対し、スキルアップ(虐待防止)を目的とした内部研修を実施しました。京都市北部障害者地域自立支援協議会内に設置されたグループホーム部会において、部会長事業所として事業所間連携等に寄与しました。



福祉人材の育成

【研修・実習の実施】
9月15日 … 佛教大学・花園大学・京都ノートルダム女子大学 3名
10月22日 … 大谷大学 2名

居宅介護事業・ 移動支援事業

利用希望に応えるため、他法人の居宅介護事業所と連携を取りながら適正な契約者数、サービス量を維持することに努めました。人材確保に努めると共に、法人事業の再編に伴うサービス提供体制の大幅な見直しを行い、ご利用者ご家族への説明と調整を実施しました。見直しの段階で法人外の事業所への移行を希望される方には、紹介や引き継ぎなどを実施しました。3月末時点の稼働ヘルパーは30名となりました。※常勤職員含む
資格取得や事業所内・事業所外の研修への参加を奨励し、登録スタッフ1名が介護職員初任者研修を修了しました。ヘルパーの資質の向上を図るため、新規登録ヘルパーに対する同行研修を充実させるとともに、より多くのご利用者に幅広くサービスを提供できるように計画的なサービス調整を行いました。登録スタッフからの相談や意見等を、WEBフォームを活用して集約する取り組みを行い、必要に応じてケース検討やフォローアップ研修を実施しました。これまで移動支援事業のグループ支援型を積極的に活用し、多くのご利用者にサービスを利用いただいていたが、事業再編や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度はグループ支援型のサービス提供の実施は見合わせる事となりました。居宅介護等サービスの安定化、技術向上と、ヘルパーの質の向上を目指し、毎月居宅介護事業の支援会議を開催しました。その内容を共有することで利用者関連の情報共有を促進しました。

特定相談支援事業 (相談サポート「まあるく」)

サービス等利用計画の作成のために必要となる書類の準備、ご利用者・ご家族への説明、法人内事業所の職員への説明と協力体制の確立など、円滑なサービス提供が可能となるように事業を進めました。複数法人のサービスを利用されているご利用者にも安定した支援を提供するために担当者会議を開催し、関係者と情報共有を行いました。サービス提供で使用する書類については、内容を見直し、より良く、より分かりやすい様式へと随時変更を加えました。ご利用者やご家族の健康状態の変化に応じて、必要な福祉サービスについて相談に応じるとともに、将来の生活スタイルについても相談支援を行いました。事業所内での情報共有を目的として週に1回、相談支援会議を行いました。

短期入所事業

修光学園
(ショートステイ「ikoi」・「hikari」)
日中一時支援事業
(修光学園ショートステイ「hikari」)

「ikoi」では、グループホーム「グロリア岡崎」の1室をショートステイとして使用するため、グループホーム運営の体制整備と並行してショートステイ事業を進めました。常時の利用者受け入れは体制上も難しく、緊急的なご利用に限って受け入れを行い、年間で「ikoi」5名(内、4名は「hikari」との併用)のご利用がありました。「hikari」は新規開設であり、グループホームとは切り離された単独型であることから、新たにスタッフ体制や運営形態の構築、また、備品整備等を行いました。ショートステイ「hikari」は今年度、受け入れを一部拡大し23名(内、4名は「ikoi」との併用)のご利用がありました。

毎日、楽しく快適に
生活できることを大切に！

ディアコニアセンター及び、グループホームでは、住み慣れた地域で安心して日常生活を営むことができるように、身体介護、家事の援助、移動の介護、相談や助言、その他の日常生活上の必要な支援を行うことを目的としています。



散歩も大切な活動の一つ。



新たに取組んでいる試み

支援スタッフ・相談支援専門員 寺島愛さん

ヘルパー勤務報告フォーム・感染防止セット、2つの新たな取り組みスタート

ディアコニアセンターは2021年以降、スタッフへの2つの新サポートを順次開始しています。①は「勤務報告フォーム」です。これはヘルパーさんと事業所スタッフがWebによって繋がれるシステムです。Webで「外出支援時の勤務報告」をしてもらうことで、タイムリーにヘルパーさんと情報の共有ができます。また、相談事も共有できるため、ひとり現場のヘルパーさんのサポート強化につながっています。②は「感染防止セット」です。各グループホームに「感染症の初動時対応マニュアル」と、ビニール手袋やアルコール消毒剤、N95マスクなど必要な物品を用意しました。また、京都府の感染対策医療チームから専門職派遣を受け、夜間でも慌てずに済む体制を整えました。この他にも、60歳の還暦を迎えたご利用者を皆でお祝いしました。今後も皆で喜びや楽しみを共有できる時間を、大切に重ねていきたいです。



感染防止セット

事業の要点 修光学園ディアコニアセンター 修光学園グループホーム

①2021年度は昨年同様、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年だったと言えます。年度初め早々の4月12日には京都府においてまん延防止等重点措置の措置区域に京都市を指定し、その後、4月25日には緊急事態宣言を発令し、9月末までの間にこれらを繰り返しながら継続的に警戒を行う体制になりました。秋ごろには一時的な感染拡大の鈍化が見られたものの、冬には新株の台頭により感染者は急増し、グループホームでは1月にご利用者1名が陽性診断を受けられ、グループホーム内での隔離静養を行う期間がありました。また、通所先等で陽性者が発生し、PCR検体の対象となられるケースも複数回あり、その都度ご家庭に一時帰宅をご協力いただくことになりました。

②全てのスタッフの質の向上を目指し、定例のスタッフ会議に加えて実際の勤務時に支援方策の検討や技術指導等を行いました。また、資格取得や事業所内・事業所外の研修への参加を奨励し、登録スタッフ1名が介護職員初任者研修を修了しました。

③新たなガイドヘルパーの養成と、地域福祉のさらなる向上を目的に、京都市移動支援事業従事者養成研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見合わせました。

④戸建て型グループホーム「マロリア岡崎」の開設から6年が経ちました。ご利用者は主として健康面での変動が大きく、こまめな体調管理と医療機関との連携に努め、スタッフには介護技術のスキルアップを奨励しました。併設したショートステイはスタッフ人員の課題、ホーム入居者の状況を鑑みて緊急時を中心に限って受け入れを行い、年間でも3名の利用がありました。

⑤グループホーム「グリーンヒューズ」の老朽化等に伴う移転計画について、近隣地域に好適地があり、土地オーナー様の意向もグループホームとしての土地、建物の提供を受けられる運びとなり、10月より現ご利用者ご家族への説明を開始し、2022年度中の移転に向けて準備を進めました。

⑥特定相談支援事業は、法人内通所事業所のご利用者を中心に計画作成業務に取り組み、2021年度末で利用契約者149名となりました。また、計画作成業務だけではなく、地域生活を送る上での必要なサービス調整や緊急対応なども適宜実施しました。

⑦京都府の障害者福祉施設協議会に継続加入し、全国規模の情報入手や研修会への参加、事業所間交流などが活発になる成果が得られました。なお、修光学園ディアコニアセンターは地域支援部会長施設として活動しました。

⑧サービス向上委員会が中心となり、8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、支援の質の向上に向けてわたしたちが出来ることというテーマで全体職員研修を開催し、事業所ごとにグループワークを行い、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。また、その後も継続検討を行い、抽出された課題を改善する方法を模索しました。登録型のヘルパーグループホームスタッフ向けには、3月にスキルアップ研修を開催しました。

2021

A stylized illustration of a slice of cake and two loaves of bread. The slice of cake is on the left, showing a white interior and a brown exterior. The two loaves of bread are on the right, one slightly behind the other, both with a golden-brown crust and visible scoring marks. The background is a light beige with a subtle pattern of small dots.

[illegible]

1985年	4月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」開設
1987年	10月	社会福祉法人修光学園設立
1988年	5月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」閉鎖
1988年	6月	知的障害者通所授産施設「修光学園」開設(定員30名)
1991年	2月	修光学園の「練り込み箸置き」が 京都府主催第2回ベストデザインコンテストに入選
1991年	4月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」再開
1994年	6月	修光学園専用店舗「HOLYLAND」(心身障害者通所援護事業)開設
1996年	4月	知的障害者通所授産施設「京都市飛鳥井学園(飛鳥井ワークセンター)」 受託経営(定員50名)
1996年	6月	飛鳥井ワークセンター専用店舗「HOLYLAND飛鳥井店」開設
1996年	8月	阪神淡路大震災救援活動で厚生大臣表彰受賞
1999年	7月	レスパイトサービス事業(法人独自事業)開始
2000年	10月	京都市グループホーム体験事業「エクセレント修学院」開設
2001年	1月	修学院学舎の「ミニミニ香炉」が京都デザイン優品2001に認定
2002年	4月	心身障害者通所援護事業「ワークショップASK」開設
2002年	6月	社会福祉法人修光学園評議員会設置
2002年	10月	グループホーム「エクセレント修学院」(定員5名)が国基準に移行
2002年	11月	修学院学舎の「飯盒花器」が京都デザイン優品2003に認定
2003年	9月	修学院学舎を小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」に移行(定員19名)
2003年	12月	飛鳥井ワークセンター製造「オニオンブレッド」が 第1回ユニバーサルベーキングカップで大賞受賞
2004年	4月	「HOLYLAND」を移転、修光学園分場に移行(定員5名)
2004年	4月	第IIグループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)開設
2004年	4月	修光学園の定員を35名に増員
2005年	3月	小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」を廃止し 4月より分場「HOLYLAND」に統合
2005年	3月	心身障害者通所援護事業「ワークショップASK」を廃止し 4月より飛鳥井ワークセンターに統合
2005年	4月	修光学園分場「HOLYLAND」の定員を19名に増員
2005年	4月	飛鳥井ワークセンターの定員を60名に増員
2005年	4月	居宅支援事業「修光学園ディアコニアセンター」開設 「修光学園ディアコニアセンター」が 身体障害者・知的障害者・児童居宅介護事業所として認可
2006年	1月	修光学園の「ちぎり絵はがき」が京都授産振興センター製品コンペで特別賞受賞
2006年	2月	HOLYLANDの陶器「六角扁壺」が京都デザイン優品2006に認定
2006年	10月	2カ所のグループホームを障害者自立支援法に基づく 「共同生活介護・共同生活援助事業」に移行
2006年	10月	修光学園ディアコニアセンターの事業を障害者自立支援法に基づく 「居宅介護事業」と京都市「移動支援事業」に移行
2008年	10月	「社会福祉法人修光学園」を商標登録
2009年	4月	HOLYLANDを障害者自立支援法に基づく新事業体系 「就労継続支援B型」に移行
2010年	4月	HOLYLANDの定員を30名に増員
2011年	9月	修光学園を障害者自立支援法に基づく新事業体系「生活介護事業・就労継続支援B型」に、飛鳥井ワークセンターを「就労移行支援事業・就労継続支援B型」に移行
2014年	1月	特定相談支援事業「修光学園ディアコニアセンター 相談サポート「まあるく」」開設
2015年	2月	グループホーム「エクセレント修学院」の定員を8名に増員
2016年	4月	グループホーム「グロリア岡崎」を開所し、 「エクセレント修学院501号室」を開所、定員17名となる
2016年	4月	短期入所事業・修光学園ショートステイ「ikoi」を グロリア岡崎内に開設(定員1名)
2016年	9月	飛鳥井ワークセンターが京都市より障害者就労支援優良施設市長表彰を受賞
2017年	4月	社会福祉法人伸久会を吸収合併し、 新事業所「ワークセンターHallie!」(就労継続支援B型・定員20名)を開設
2017年	12月	ワークセンターHallie!に製菓工房を増設、HOLYLANDの製菓事業を移転
2018年	1月	洋菓子店「茶山Isweets Halle」を「ワークセンターHallie!」内に開設 京都市植物園で行われた、パティスリーあすの京都カップにて、 ワークセンターHallie!製造「米幸バウム」が、通行人100名から選ばれる 『グランプリ』と、7名の審査員から選ばれる『審査員優秀賞』の2冠を受賞
2019年	11月	HOLYLANDの跡地に、新事業所「光の家アクティブセンター」(生活介護・定員20名)、 「修光学園ショートステイhikari」(短期入所・定員2名)を開設 (修光学園ディアコニアセンターを同拠点へ移転)
2020年	4月	
2022年	9月	修光学園グループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)を移転開設

理 事	石 室 良 孝 (福)愛友会 理事長
理 事	加 藤 俊 明 (公財)京都YMCA 総主事・代表理事 (学)京都YMCA学園常務理事・国際福祉専門学校校長
理 事	末 田 啓 二 前・甲子園短期大学 特任教授
理 事	土 井 赴 土井公認会計士事務所 会長
理 事 (理事長)	森 のり子 (福)修光学園 理事長
理 事 (常務理事)	森 亮 (福)修光学園 修光学園・光の家アクティブセンター・ 修光学園ディアコニアセンター 統括センター長
監 事 第三者委員	平 尾 嘉 晃 中村法律事務所所属 弁護士
監 事 第三者委員	脇 田 宣 (福)白川学園 理事長
評議員	青 山 敏 夫 社会保険労務士・行政書士 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす事務局長
評議員	榎 本 栄 次 (学)敬和学園理事長 (公財)日本クリスチャンカデミー 関西セミナーハウス活動センター 所長
評議員	岡 崎 祐 司 佛教大学 社会福祉学部教授
評議員	藤 田 徳 治 郎 (福)京都市左京区社会福祉協議会 会長
評議員	沼 崎 勇 日本福音ルーテル京都教会・修学院教会 牧師
評議員	平 尾 剛 之 (一財)社会的認証開発推進機構 専務理事・研究主幹
評議員	三 木 恒 治 (福)恩賜財団済生会 滋賀県病院 院長 京都府立医科大学 名誉教授



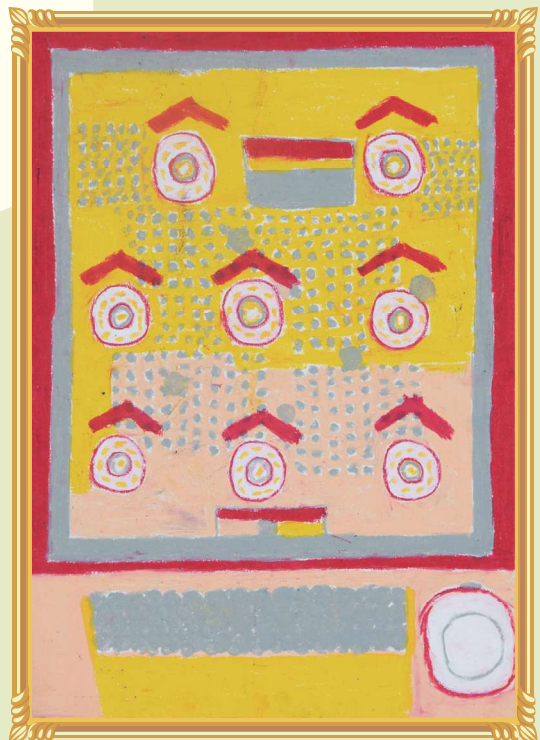
ご利用者のやってみたい!という気持ちを大切に、
自由な発想で水彩画やちぎり絵、立体作品を創作。
思い思いの色や形で、それぞれの気持ちを表現しました。



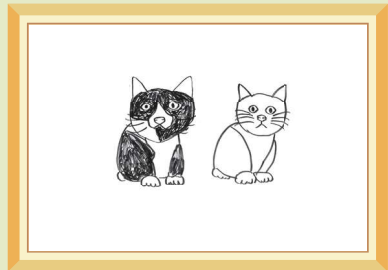
「紅葉」共同制作



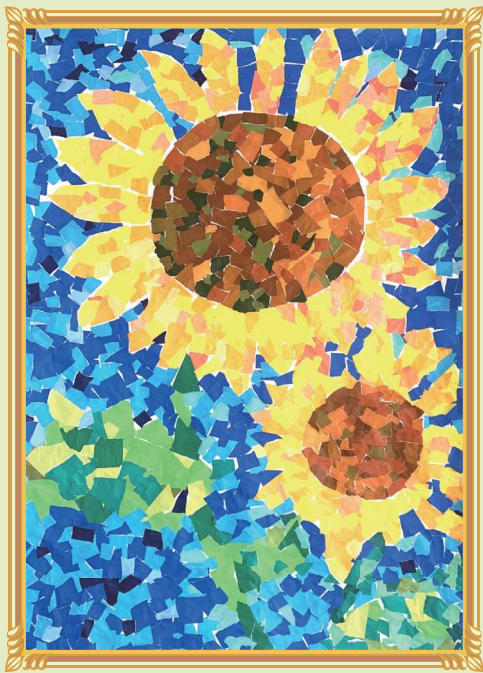
「花火」共同制作



京都とっておきの芸術祭出品作品
「パチンコ」大八木恒之



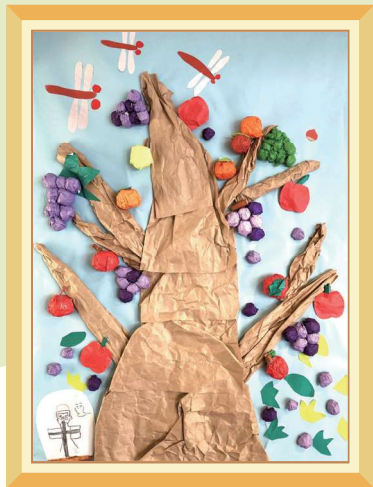
「ねこ」A



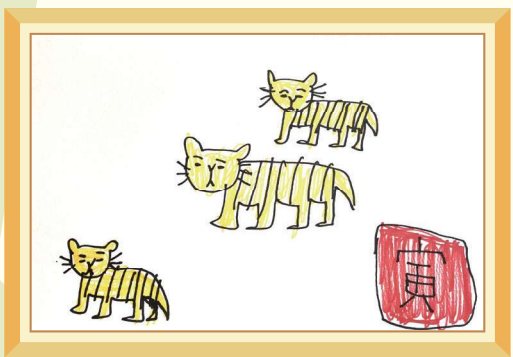
京都とっておきの芸術祭出品作品 「ひまわり」共同制作



「ひまわりと虹」共同制作



「収穫の秋」共同制作



「寅の年」荒生譲治

ご支援くださいました方々

(2021年4月1日~2022年3月31日 順不同・敬称略)

＜ご寄附＞

梅田吉邦 小笠原和雄 長村光造
加藤尚美 小谷啓二 佐藤藤
篠田陽 末田啓二 竹下直・八千代
武田知記 富嶋克樹 中川永一
中原俊輔・秀子 西田洋子 櫛木武敏
三田夏花 三宅孝 森のり子 森亮
山田夏 鴨巣椎園
京都グローバルワイズメンズクラブ
株コスト代表取締役中嶋一治 朱常分店
聖光教会 西都教会
西都教会婦人会 赤山町内会
同志社高等学校 同志社女子高等学校
同志社高等学校宗教部
日本福音ルーテル教会修学院教会
修光学園・光の家家族会
飛鳥井ワークセンター家族会
ワークセンターHalle!家族会
(計2,236,000円・物品寄附を含む)

【後援会を通じて】

青山勉夫 浅井晴子 嵐てい子 生駒勝彦
山崎愛 一色逸雄 猪野正 伊与田勲
若崎直 岩山良 上野啓治 内田泰子・順子
大月敏行 小笠原和雄 奥羽恵子 片岡広
北茂一 木村正 倉真博行 小泉小枝
谷賀茂子 小山雅弘 佐々木柳子
佐藤見一・温子 末田啓二 村杉神爾
高石正之 田中幸 田邊桂三 土屋敏子
中野喜美子 倉倉道隆 二浦正和
山口穫 野崎克子 林徹 平尾嘉晃
平野慶治 増田和子 棚木武敏 三木恒治
三嶋隆之 光延博 三宅大介 牟田澄子
山田純平 吉川一彦 吉澤隆・晶子
吉田光宏 渡辺敬春 (株)小寺工業
京都・ヒゲタ養蜂園 錦林教会
建計住宅販売(株)代表取締役井上誠二
(都計7,600万・祈念碑獲得募金を含む)

＜ボランティア／協力団体＞

【ボランティア】

金房裕子 高橋由寧 谷愛美 富永佳恵
長谷川幹 堀富男 前田達彦 山田隆
京都ノートルダム女子大学酒井ゼミ
養正学区社会福祉協議会

【委託販売協力】

アノニム・ギャラリー café & goods B.S.C
 喫茶ほっとはあと府庁店・御池店
 KYOTO HOSTEL NINIRROOM
 京都ノートルダム女子大学 京都紅茶倶楽部
 きらら館 ぎんぎん堂 峠グレースたなか
 フラワーショップ歳時樹 じえんと市場 スリーパンズ
 株高島屋オンラインストア 玉木商店
 たんぽぽの家 チュラキューブ 同志社中学校
 heart garden ハートプラザKYOTO
 はあと・フレンズ・ストア 糸糸店ヒロ
 あびひと・まち ぶらり嵐山

【業務提携協力】

ISA 株オスカーヤマ印刷 ぎおん匠心庵
京都紅茶倶楽部 株京都知七 銀花園
グラウンド (有)グランブルー
クリンスペース株式会社
株グレースたなか 株芸艸堂 コトブキ株式会社
株斎王 株シマブリ
株ジャパンパレージホールディングス
株デリバリーサービス 株なかもむら
中村鯉蝶株式会社 福見印刷企画株式会社
フラワーショップコ 株プレスハウス
株平安 株メービス 雅ハンドワークサービス
山田紙業株式会社

【定期購入協力】

友愛保育園 あすかい病院地連連携室
 市原京 鴨東東会・幼稚園
 花友しらかわ 北白川いずみ保育園
 北山バプテスト教会
 京都グローバルワイズメンズクラブ
 京都市子ども文庫連絡会
 京都市社会福祉協議会
 京都市長寿すこやかセンター
 京都市立病院労働組合
 京都SKYセンター
 京都福祉サービス協会
 京都府社会福祉事業団
 京都府福祉人材・研修センター
 京都府共同募金会
 京都府高齢者情報相談センター
 京都府社会福祉協議会
 京都府難病相談支援センター
 京都府民間社会福祉施設職員共済会
 京都府看護協会
 京都府保育協会
 京都府母子寡婦福祉連合会
 京都府民生児童委員協議会
 京都府ボランティアセンター
 京都府シルバー人材連合会
 京都府老人クラブ連合会
 京都府介護支援専門員会
 京都府身体障害者団体連合会
 京都府とはあとセンター
 光徳学区社会福祉協議会
 修学院第二児童館 修学院保育所
 スペシャルオリンピックス日本・京都
 聖光教会・幼稚園
 西都教会 全国心臓病の子どもを守る
 玉樹商店 桃林幼稚園 同志社中学校
 にこここ・オレンジカフェ・いわくら
 日本バプテスト病院
 日本福音ルーテル修学院教会
 ハートピア京都会館事務所
 ひとこと・まち ひとこと・まち交流館京都
 FUKUJOB ひょうと介護・福祉人材総合
 マ・カンティース 養正保育所

【協力団体】

ある京都北（京都府立ゼミナールハウス）
art space co-jin 青木梅工房
飛鳥井町内会 アトリエと
いわくら病院 うつみ農園
大谷大学
オムロン労働組合京都支部
有力シテック
京都医療福祉専門学校
（一社）京都馬主協会
京都グローバルワイズメンズクラブ
熊本ワイズメンズクラブ
京都芸術大学 京都光華女子大学
同志社大学 花園大学
佛教大学 立命館大学 龍谷大学
京都保育福祉専門学校
京都市立花山中学校
京都歯科サービスセンター
京都市立嘉楽中学校
京都市立近衛中学校
京都市社会福祉協議会
京都市左京区社会福祉協議会
京都市立修学院小学校
京都市立修学院中学校
京都市立高野中学校
京都市立養正小学校
京都市立養徳小学校

京都府障害者職場定着支援等推進センター
 京都障害者職業センター
 京都府障害者スポーツセンター
 京都市地域リハビリテーション推進センター
 京都市福祉ボランティアセンター
 京都市北部障害者地域自立支援協議会
 京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」
 京都市北部障害者地域生活支援センター「ほくほく」
 京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」
 京都府福祉人材・研修センター
 京都障害者就業・生活支援センター
 京都ジョブパーク
 (公財)京都新聞社会福祉事業団
 京都中央看護大学校
 京都手をつなぐ育成会
 京都ノートルダム女子大学
 京都府歯科医師会
 京都府中小企業診断協会
 京都府農業総合支援センター
 京都ほっとはあとセンター
 京都民医連あすかい病院
 京都ライトハウス 京都YMCA
 日下部農園 ㈱グレースとなか
 建都住宅販売株式会社
 (公財)国際障害者年記念ナイスハート基金
 国際ソロプチミスト京都―桃華
 小山園製茶場(茶農喜左衛門)
 左京消防署
 左京保健福祉センター 下鴨警察署

修学院各種団体連絡会
修学院学区社会福祉協議会
養正学区社会福祉協議会
光徳学区社会福祉協議会
新京阪観光案内所
スペシャルオリンピックス日本・京都
聖ヨゼフ医療福祉センター 赤山町内会
㈱ただいま たんぼほの家
(公財)中央競馬馬主社会福祉財団
同志社女子中学校・高等学校 ㈱なかむら
西浦商事 ㈱日本果汁 日本海牧場
日本セルフセンター 日本福音ルーテル教会
日本福音ルーテル修学院教会
農業ビジネスセンター京都
ノートルダム学院中学校高等学校
はあと・フレンズ・ストア
バプテスト訪問看護ステーションしおん

ハローワーク京都七条(京都障害者職業相談室)
ヒグチ養蜂園 三嶋医院 宮本ファーム
山端自治会 養正児童館 ルシェ・ハッタ
山元産業株式会社
吉田歯科医院 修光学園後援会
修光学園・光の家族会
飛鳥井ワークセンター家族会
ワークセンターHalle!家族会

修光学園の活動をお支え下さい

法人へのご寄附は確定申告により
税制上の優遇措置が受けられます
(後援会寄附を除く)

＜郵便振替口座＞
01060-2-65843

社会福祉法人修光学園

代表者 森 のり子

＜銀行振込口座＞

行修学院支店(普通)7

社会福祉法人修光学園

理事長 森 のり子

貸借対照表

2022年3月31日現在

資産の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	137,172,554	126,267,995	10,904,559
現金預金	51,175,985	40,327,462	10,848,523
有価証券	10,000	10,000	0
事業未収金	74,096,177	76,862,597	△ 2,766,420
未収金	0	0	0
未収補助金	0	0	0
貯蔵品	666,212	724,785	△ 58,573
商品・製品	5,021,220	3,003,700	2,017,520
仕掛品	2,794,310	1,472,697	1,321,613
原材料	1,052,939	849,373	203,566
立替金	0	548,032	△ 548,032
前払金	1,669,724	1,781,598	△ 111,874
前払費用	0	0	0
一年以内回収予定長期貸付金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0
仮払金	685,987	687,751	△ 1,764
その他の流動資産	0	0	0
固定資産	603,165,140	606,376,236	△ 3,211,096
基本財産	557,472,251	569,626,173	△ 12,153,922
土地	247,875,100	247,875,100	0
建物	307,640,581	319,708,397	△ 12,067,816
構築物	1,956,570	2,042,676	△ 86,106
定期預金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他の固定資産	45,692,889	36,750,063	8,942,826
土地	0	0	0
建物	9,028,785	10,516,650	△ 1,487,865
構築物	0	108,975	△ 108,975
車両運搬具	5	6	△ 1
器具及び備品	12,532,135	10,807,709	1,724,426
建設仮勘定	0	0	0
権利	1,441,000	371,000	1,070,000
ソフトウェア	0	6,210	△ 6,210
投資有価証券	0	0	0
長期貸付金	0	0	0
退職給付引当資産	0	0	0
長期預り金積立資産	0	0	0
工費平均積立預金	18,573,834	14,822,383	3,751,451
備品購入積立預金	0	0	0
修繕積立預金	4,000,000	0	4,000,000
差入保証金	0	0	0
長期前払費用	58,150	58,150	0
その他の固定資産	58,980	58,980	0
資産の部合計	740,337,694	732,644,231	7,693,463

資金収支計算書

第1号の1様式(単位:円)
(自)2021年4月1日 (至)2022年3月31日

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収入	就労支援事業収入	64,980,000	65,394,187	△ 414,187	
	障害福祉サービス等事業収入	437,697,000	436,718,597	978,403	
	自立支援給付費収入	409,479,000	409,584,413	△ 105,413	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	2,650,000	2,636,000	14,000	
	受取利息配当金収入	0	944	△ 944	
	私的契約利用料収入	0	45	△ 45	
	その他の収入	1,957,000	1,855,550	101,450	
	事業活動収入計(1)	507,284,000	506,605,323	678,677	
	人件費支出	320,718,000	324,057,732	△ 3,889,732	
事業活動による支出	事業費支出	32,277,000	32,697,442	△ 420,442	
	事務費支出	51,621,000	52,065,091	△ 444,091	
	就労支援事業支出	64,980,000	64,974,022	5,978	
	支払利息支出	860,000	859,966	34	
	事業活動支出計(2)	470,456,000	474,654,253	△ 4,748,253	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	36,828,000	31,951,070	5,426,930	
	施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	4,722,000	4,722,000	0
		設備資金借入金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)		4,722,000	4,722,000	0	
設備資金借入金元金償還支出		5,544,000	10,544,000	△ 5,000,000	
固定資産取得支出		6,704,000	6,709,400	△ 5,400	
固定資産除却・廃棄支出		0	0	0	
施設整備等支出計(5)		12,248,000	17,253,400	△ 5,005,400	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 7,526,000	△ 12,531,400	5,005,400	
その他の活動による収入	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	
	積立資産取崩収入	0	121,547	△ 121,547	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	0	121,547	△ 121,547	
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
	積立資産支出	8,000,000	7,872,998	127,002	
	拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	その他の活動による支出	256,000	255,984	16	
	その他の活動支出計(8)	8,256,000	8,128,982	127,018	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 8,256,000	△ 8,007,435	△ 248,565	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	21,046,000	11,412,235	10,183,765	
	前期末支払資金残高(12)	80,976,545	80,976,545	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	102,022,545	92,388,780	9,633,765	

※修光学園ホームページにて詳細をご覧ください。

社会福祉法人修光学園
第3号の1様式(単位:円)

負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動負債	41,723,859	45,765,664	△ 4,041,805
短期運営資金借入金	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000
事業未払金	22,101,392	22,164,263	△ 62,871
その他の未払金	0	0	0
一年以内返済予定設備資金借入金	5,544,000	5,544,000	0
一年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
一年以内支払予定長期未払金	264,554	255,984	8,570
未払費用	0	0	0
預り金	399,047	421,940	△ 22,893
職員預り金	6,664,766	5,534,877	1,129,889
前受金	0	0	0
前受収益	0	0	0
仮受金	1,750,100	1,744,600	5,500
貸与引当金	0	0	0
その他の流動負債	0	0	0
固定負債	118,866,000	129,674,554	△ 10,808,554
設備資金借入金	118,866,000	129,410,000	△ 10,544,000
長期運営資金借入金	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0
長期未払金	0	264,554	△ 264,554
長期預り金	0	0	0
その他の固定負債	0	0	0
負債の部合計	160,589,859	175,440,218	△ 14,850,359

純資産の部			
基本金	154,524,100	154,524,100	0
国庫補助金等特別独立金	98,234,861	99,142,439	△ 907,578
その他の積立金	22,573,834	14,822,383	7,751,451
工費平均積立金	18,573,834	14,822,383	3,751,451
備品等購入積立金	0	0	0
修繕積立金	4,000,000	0	4,000,000
建設積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	304,415,040	288,715,091	15,699,949
次期繰越活動増減差額	304,415,040	288,715,091	15,699,949
(うち当期活動増減差額)	(23,451,400)	(25,196,399)	(△ 1,744,999)
純資産の部合計	579,747,835	557,204,013	22,543,822
負債及び純資産の部合計	740,337,694	732,644,231	7,693,463

事業活動計算書

第2号の1様式(単位:円)
(自)2021年4月1日 (至)2022年3月31日

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サレシ活動増減の部	収 入			
	就労支援事業収益	65,394,187	59,949,446	5,444,741
	障害福祉サービス等事業収益	436,718,597	424,466,761	12,251,836
	私的契約利用料収益	0	0	0
	経常経費寄附金収益	2,636,000	1,571,000	1,065,000
	その他の収益	1,855,550	1,700,468	155,082
	サービス活動外収入計(1)	506,604,334	487,687,675	18,916,659
	費用			
	人件費支出	324,057,732	311,046,856	13,010,876
	事業費支出	32,697,442	33,183,621	△ 486,179
サレシ活動増減の部	事務費支出	52,065,091	50,565,197	1,499,894
	就労支援事業費用	61,431,323	54,645,556	6,785,767
	減価償却費	17,671,946	18,403,001	△ 731,055
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,629,578	△ 6,004,896	375,318
	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	482,293,956	461,839,335	20,454,621
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	24,310,378	25,848,340	△ 1,537,962
	収 入			
	受取利息配当金収益	989	486	503
	その他のサービス活動外収益	0	600	△ 600
サレシ活動増減の部	サービス活動外収益計(4)	989	1,086	△ 97
	支払利息	859,966	1,014,930	△ 154,964
	その他のサービス活動外費用	0	0	0
	サービス活動外費用計(5)	859,966	1,014,930	△ 154,964
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 858,977	△ 1,013,844	154,867
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,451,401	24,834,496	△ 1,383,095
特別増減の部	収 入			
	施設整備等補助金収益	4,722,000	0	4,722,000
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	681,657	△ 681,657
	拠点区分間繰入金収益	0	0	0
	拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	費用			
	特別収益計(8)	4,722,000	681,657	4,040,343
特別増減の部	基本金繰入額	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	1	319,754	△ 319,753
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	4,722,000	0	4,722,000
	拠点区分間繰入金費用	0	0	0
	拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	特別費用計(9)	4,722,001	319,754	4,402,247
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1	361,903	△ 361,904
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	23,451,400	25,196,399	△ 1,744,999
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	288,715,091	268,233,350	20,481,741
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	312,166,491	293,429,749	18,736,742
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	121,547	116,589	4,958
	その他の積立金積立額(16)	7,872,998	4,831,247	3,041,751
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	304,415,404	288,715,091	15,699,944